

- ご挨拶

新春とは申しながらきびしい寒さですが、おかわりありませんか。

「日本文化を世界に伝える」ことを続けております和の輪の、今年も地道に舞台活動を続けて参ります。

本年秋の「大経師昔暦」公演をご案内いたしたく、企画書をお送りしました。公演をご検討いただけたら幸いです。

なお、2006年春にも「大経師昔暦」は全国巡演したいと思っております。

2005年予定

9月下旬～10月3日 カナダ公演

10月7日～11日 各地

10月12日～中旬 東京

2006年予定

4月～6月 各地巡演

どうぞよろしく願い申し上げます。

2005年(平成17年)1月吉日

NPO 法人グローバルシアター和の輪

代表 城谷小夜子

初演より 290年

近松門左衛門作

だいきょうじむかしごよみ

大経師昔暦

企画書

NPO 法人グローバルシアター和の輪

〒270-2251 松戸市金ヶ作 60 - 4

T / F047-349-3043 または IP/ 050-3342-2467

info@wanowa.org <http://www.wanowa.org>

2005年

1715年の初演より290年記念

近松門左衛門作『大経師昔暦』

2005年は、名作『大経師昔暦』が初演されて290年に当たります。

このお話は、京都の暦屋で本当にあった不義密通事件を元に、近松門左衛門が33回忌の年忌浄瑠璃として、1715年の正月に大阪で初演されたものですが、年月を経て最後の段がカットされることが多くなりました。近松門左衛門の書いた幕切れ通りの上演を皆さまにごらんいただき、近松のこころを味わっていただくという企画です。

日本の女優の中でただ一人近松門左衛門の原文上演による一人芝居を続けている城谷小夜子は、2004年度の大阪文化祭賞奨励賞に選ばれました。この作品は第3作目であり、新進気鋭の小鼓奏者である藤舎花帆との息もぴったりの舞台は、去年11月の初演ですでに高い評価をいただいています。カナダ公演から帰国してすぐの凱旋公演となるこの舞台は、近松の魅力を改めて感じていただけるものと思います。

唄・弾き語り・鼓との合奏・踊り・一人13役のぜひともこの意欲的な試みの舞台上演を企画していただき、観客に近松門左衛門の原文を堪能していただきたいと願っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2005年1月吉日

NPO 法人グローバルシアター和の輪

【上演目的と目標】

日本のシェイクスピアといわれる近松門左衛門ですが、原文を耳で聞くチャンスはあまりありません。

和の輪は、「わかる」「おもしろい」をモットーに、歌舞伎でも文楽でもない独特の一人芝居を作り上げました。近松門左衛門が290年前に書いたそのままを上演し、日本語をたっぷり味わっていただきたいと思っています。この舞台を通じて、日本文化に興味を持ってもらえたらこんなにうれしいことはありません。上方ことばの美しさを改めて感じていただけるものと思います。またひろく海外の皆様にも楽しんでいただきたいとの考えから踊りや音楽も多く取り入れ、ビジュアル的にも日本文化を味わっていただけるものに仕上がっています。

【上演時期】 2005年10月7日(金)～11日(火)

【上演時間】 1時間50分

解説10分程度 芝居 1時間40分(休憩なしの予定)

【出演者】 城谷小夜子 藤舎花帆 他

【公演料金】 交通費・宿泊・消費税込み

1ステージ 1,600,000 円

(劇場費・宣伝材料費 含まず)

チラシ・パンフレットにつきましては必要であればデータお出しいたします。

【人頭】 16人予定(出演3～4人 スタッフ12人)

【大まかなタイムテーブル】

午後2時開演の場合 (劇場使用は午前午後)

9:00仕込み 開場13:30 開演14:00～15:50 搬出16:40

午後6時30分の場合(劇場使用は午後夜間)

13:00仕込み 開演18:30～20:20 搬出21:20

【その他】

事前勉強会・当日交流会 なるだけご協力したいと思っています。

当日お客様お見送りさせていただきます。

事前の劇場との打ち合わせは和の輪でいたします。

作品について…

正徳5年(1715)正月初演。大阪竹本座初演。近松 63 歳。

歴史の事実

おさん茂兵衛の姦通事件が起こったのは天和3年(1683)。

京都からすま烏丸通り四条下ル大経師浜岡権之助、剃髪後意俊を名乗った人物の妻「さん」が、手代の茂兵衛と密通した事件を仕組んでいる。両人は、媒介した下女玉と共に丹波で捕らえられ、3人共に洛中引き廻しの上に粟田口あわたぐち(岡崎近く)で処刑された。そのときおさんが着ていた着物は黒色の憲法染めに「蘆に鷺」の柄であった。大経師家が断絶をしたのは貞享元年(1684)12月で、断絶の理由としては、姦通事件は副次的なもので、主として「当該役所の京都所司代を差し越えて、江戸奉行所へ曆板行の独占権を願い出、京都所司代稲葉丹後守の怒りを買ったこと」によるものらしい。正徳5年(1715)はその33回忌にあたる。

近松はこのように書いた

近松のこの作品では、おさん茂兵衛の不義密通を意思のない過ちとし、最後に両名の命を救っているところに年忌浄瑠璃の特色がみられる。文化 11 年(1884)の上演を最後に全曲通し上演は姿を消した。

今回の和の輪の芝居では・・・

近松の書いた当時のままの言葉での原文上演。一人の大夫が演じ分けたように 13 役を演じ、三味線での弾き語りもある。

上之巻、中之巻、下之巻の「暦歌」「粟田口刑場の場」まで全段を上演する。

【ものがたり】

上の巻（大経師以春家）

実家から金の調達を依頼されたおさん（大経師以春女房）はその金策を手代茂兵衛に頼む。茂兵衛は主人の実印を白紙に押すところを同僚助右衛門に見られ、隣家の二階に監禁された。その夜、自分をかばってくれた女中お玉の愛にこたえるため、玉の寝室に忍び込んだ茂兵衛は、夫の不行跡をなじるために玉の寝床に代わって寝ていたおさんと、はからずも不義の契りを結んだ。

中の巻（赤松梅竜宅）

姪の玉を預かっている講釈師赤松梅竜の許へおさんと茂兵衛がやってくる。おさんの両親ぎぶ やどうじゅん岐阜屋道順夫婦と道で出会い、父母はおさんに金を与えて去る。

下の巻

（奥丹波隠れ家）

奥丹波かやばら柏原に逃れ住んだおさん茂兵衛は、危険を感じて丹後の宮津に逃れようとして捕らえられる。

（おさん茂兵衛暦歌）おさん茂兵衛の二人道行き（踊り）

（粟田口刑場の場）

両名が処刑されようとするとき黒谷の東岸和尚が駆けつけ、両名を救う。

NPO 法人グローバルシアター和の輪とは・・・

2001 年に、城谷小夜子が立ち上げた劇団。

日本の古典を復活上演し、さらに日本文化を世界に紹介普及することで、国際平和の一翼を担うことを目的としています。今までに5本の作品を作り、リーディングプレイは 2 作品。若手の育成にも力を入れています。世界とのネットワークは、ロシア(サン

クトペテルブルグ、エカテリンブルグ、ブリアート)、USA 各地、香港、台湾、カナダ、オランダ、デンマーク、スイスなど、年々増えています。ロサンゼルス・ハリウッドにあるシークレット・ローズ・シアターと姉妹劇団である。終戦60年の本年、国際平和の架け橋として、日米沖合同公演「八月十五夜の茶屋」を制作している。11月上演予定。

「大経師昔暦」初演に寄せられた感想 (抜粋)

2004年11月16日船橋きららホールにて

最後の拍手が鳴り止んでも、舞台の中に引き込まれたまま、私は席から立ち上がれませんでした。美を堪能しました。

中神吉且(埼玉県)

Oh Wonderful! 感激! 6名の感想です。 大久保信子(千葉)

お一人での演じ分けが、無理なく登場人物一人ひとりの鬘や衣装が見えてくるようでした。万才も華やかに、幼い頃門口に回ってきた獅子舞を思い出し、大詰めの場面では、善意から始まった成り行きの切なさに目頭が熱くなりました。

秋谷多英子(我孫子市)

鼓・三味線の共演お見事。近松を現代に生かす見事なプロデュース。

中村正董(船橋)

よかった。すばらしい演出です。

金川貴博(つくば市)

熱演に感激しました。

使い慣れない言葉も多く、最初は入り込みにくかったですけど、楽しく時間を過ごせました。

土屋多加史(東京都)

一人舞台は始めて鑑賞しましたが魅了されました。最後まで集中しました。言葉も聞き取り易く内容も良く分かりました。始まる前の文字での解説も内容を理解するのにとても良い方法だと思いました。役者の魅力で一人芝居は成功が決まるのだ・・・と当たり前のことに感心致しました。

水野春海(船橋市)

ほんとうに素晴らしい出来でした。小夜子さんはもちろんのこと、多くの人達の支えで一つの芝居が出来あがるですね。いつもながら、小夜子さんの情熱、バイタリティ - には感心させられます。「あんなに長いセリフをどうやって覚えるのかしら?」なんて思ったりして...

田中フミエ(松戸市)

とても良かったです。久しぶりに日本語の【セリフ語りの美しさ】が堪能出来た。7・5調という【韻を踏んだセリフ語り】は私達日本人が潜在的に持っている言語中枢を刺激し、心地よい響きで近松の世話物の世界に誘ってくれた。普段にはない異空間に置かれた五感は日本人としての感性を蘇らせ、乾いた土に水がしみ込むがごとく脳裏にしみ込んできた。着物を一枚一枚脱いでいく所作からは【ある種の官能的な雰囲気】が漂い、視覚を加味した表現



に説得力が感じられた。日本語大好き人
相変わらず非常に志の高いお芝居で、四六時中感心しながら拝見しました。
城谷さんのお芝居は、ジャンルとしてそれほどよくあるものではありません
から、疑いや恐れなどに負けずに、とにかく上演にまでこぎつけるということ
それ自体が、とても立派だと思いました。久保遥(東京都)

しろたに さよこ
城谷小夜子 プロフィール www.wanowa.org

女優 プロデューサー

東京都認証 NPO 法人グローバルシアター和の輪 代表理事
京都西陣出身。明大英文科中退。前進座付属養成所卒業。

1976 年前進座入座、2000 年退座。

ロシア・サンクトペテルスブルグ演劇アカデミー、USA エール大学大学院、
香港大学、台湾大学等で、ゲストアーティストとして日舞・立ち回り・化粧・着付け・レクチャー
など日本伝統文化を教える。演出・戯曲構成・振り付け・作詞・舞台美術などもこな
す。



(主な舞台)

内道遥「大いに笑う淀君」淀君 五木寛之「蓮如」蓮祐 井上ひさし「たいこどんどん」袖ヶ
浦以上前進座 樋口一葉「十三夜」おせき(芸団協主催) 小松左京「昔の女」「流れる
女」

矢代誠一「宮城野」 寺島玲子「千回恋して」

近松作品の原文上演 「女殺油地獄」(19 役) 「心中天網島」(17 役) 「大経師昔暦」(13 役)

(受賞) 「たいこどんどん」袖ヶ浦の役にて関西矢の会賞

「心中天網島」17 役にて 2004 年度大阪文化祭賞奨励賞

(主なプロデュース公演) 「童門冬二の世界」 ミュージカル「平家物語 2002」

(資格) 日舞(藤間流名取)・長唄(杵屋佐吉派名取)・琴(衛藤流助教授) 華道(東山未生
流)

(稽古事) 義太夫(竹本初美門下) 謡(宝生流) 狂言(大蔵流) 体操(野口三千三体操)

清元 書道 歌 気功

(海外活動)

1994年 ロシア 3 箇所近松作品公演(ペルミ演劇祭招待・モスクワ日本大使館主
催公演・サンクトペテルブルグ市のバルキスキ劇場主催公演)(国際交
流基金)

1995年 サンクトペテルブルグ演劇アカデミーで日本文化を教える(～2000 年)

- 1999年 国際交流基金派遣課主催事業で代表者としてロシア 3 都市を公演
- 2000年 ウランウデ劇場で「日本文化の夕べ」公演
- 2001年 USA・エール大学大学院で日本文化を教える。
- 2002年 ニューオリンズ日本領事館主催「日本文化の夕べ」に主演。
ルイジアナ・コンバット・フェスティバルに招待される(国際交流基金)
- 2003年 「八月十五夜の茶屋」(LAの姉妹劇団ファイヤーローズプロダクション)
香港大学ほか4大学で日本文化と日本語を教える
- 2004年ウクライナ大学で舞台公演 サンクトペテルブルグの演劇大学 225 年祭招待。
- 2005年 ユネスコの演劇祭招待。 カナダ公演予定。

(その他活動) 講演・執筆・ワークショップ

とうしゃ かほ
藤舎 花帆 プロフィール

東京都出身

東京藝術大学大学院音楽研究科博士課程 邦楽囃子専攻



【資格】 日本舞踊名取師範：松本幸四郎師より松本幸妃の名を許される

藤舎流囃子方名取師範：藤舎呂船師より藤舎花帆の名を許される。

【受賞】 学部在学中、安宅賞を受賞。

【オペラ】 「あだ」<三木稔作曲>、
「レクイエム」<三善晃作曲>では、オーケストラと共に演奏。

【国際交流】 カナダ、バンフフェスティバル招待、邦楽の紹介をする。

スペイン、ルクセンブルグ公演に参加する。国際交流基金

【舞と鼓】 「MUSIC EXPO 2002、地球博愛知」(服部克久監修)

【映像】 瀬戸内寂聴、訳・解説「源氏物語」<富田勲音楽>(NHK ホール)

【モデル】 日春展 白鳥 暎雪画伯のモデル 2003 (くれゆくしじま)

【マスコミ】 TV. CM など多数。

芸能活動のほか、最近は古典曲に限らず、尺八、箏の曲に作調したり、新たに作曲を行うほか、フルート、ジャズ、琉球音楽、美術とのコラボレーションや舞と鼓を融合させるなど目でも耳でも楽しめるような活動も行っている。

～ 連絡先・問い合わせ ～

NPO 法人グローバルシアター-和の輪

代表 しろたに さよこ 城谷小夜子 090-248-9520

制作・副代表理事 おとべじゅんこ 乙部順子

【住所】 〒270-2251 松戸市金ヶ作60 - 4

【Tel/Fax】

松戸事務所 T / F 047-349-3043 or 050-3342-2467

乙部・東京連絡先 T / 03-3234-5581 F / 03-3234-5583

【Eメール】 info@wanowa.org

【ホームページ】 <http://www.wanowa.org>